

年 組 名前：

問1

県産材で作ったワイン樽は、
 企画から何年かけて完成
 させましたか。正しいものに
 ○を付けてください。

- 「 」 2年半
- 「 」 4年
- 「 」 6年

問2

丹波山村は、県産材の
 ワイン樽をどんなことに
 役立てたいと期待して
 いますか。2つ挙げてください。

.....

.....

.....

問3

「村内の(A)を使ったワイン樽は直径約(B)㌢、長さ約(C)㌢、重さ約(D)キロで、(E)㌢入り、約(F)年間使用することが可能という」。①～⑥に入る言葉や数字は何ですか。

- ① 「 」 ② 「 ㌢」 ③ 「 ㌢」 ④ 「 キロ」
- ⑤ 「 ㌢」 ⑥ 「 年間」

県産ワイン 県産の樽で

丹波山村、甲州のワイナリー製作

丹波山村産のミスナラを使ったワイン樽を手渡す岡部
 岳志村長（左）
 甲州・奥野田ワイナリー



林業担い手確保へ特産化

山梨県産ワインを県産樽で。丹波山村は、村内のミスナラを使ったワイン樽を製造した。村によると、国産の木材を利用したワイン樽は珍しく、甲州市のワイナリーの協力を得て、企画から4年かけて完成させた。村は県産ワインのブランド価値向上へ、樽を役立ててもらうとともに、今後は販路を国内外に広げて林業の担い手確保にもつなげたい考え。

（松崎篤嗣）

村内のミスナラを使ったワイン樽は直径約35㌢、長さ約40㌢、重さ約10㌢で、18㌢入る。外周には真ちゅう製の留め具をあしらった。約200年間使用することが可能という。

村振興課によると、ワイン樽は2018年に村職員が、奥野田ワイナリー（甲州市塩山牛久保）の中村雅章社長と面会し、製造へ向けて動き出した。県産の原材料を利用し、「オール山梨」のワイン製造に取り組み同社で、樽に県産のものがないことを知り、村は村内の木材を利用して製造できないか検討を始めた。

19年には、廃業した県外のワイン樽工場から聞き取り、

樽製作のノウハウを学んだほか、村職員が樽専門のメーカー「有明産業」（京都府）を訪ね、ワイン樽の製造を依頼。昨年8月12日に村のミスナラ30本を切り出して宮崎県の同社工場へ出荷し、今年3月に樽が完成した。

13日には奥野田ワイナリーでワイン樽の完成を祝うセレモニーがあり、岡部岳志村長が「第1号」の樽17個を同社の中村社長に託した。中村社長は「企画から完成まで約4年間がたち、初のオール山梨ワインとして、非常に価値の高いワインができる」とあいさつ。岡部村長は「樽は色つやもよく、愛着が湧く。村の新たな特産品になればうれし」と期待した。

(2021年4月14日付 山梨日日新聞 28面)